議会だより こうた

第115号
2005年2月1日発行

あけぼの第一幼稚園

② ゴミ袋（大）20円を45円に2.25倍値上げなど
③ 22人を16人に　議員定数６人削減
⑤ 一般質問「福祉バスの利便性」など 11人が追求
⑯ 委員会レポート…「中央公民館と幸中体育館改築」 など
⑳ 「ステキ 快適」 わが町を思う

幸田町合併50周年

年頭のあいさつ

議長　内田　等

新年あけましておめでとうございます。

昨年は日本各地域で数多く災害が発生し甚大な被害を受けました。同時に多くの尊い命が失なわれました。心からお見舞いを申し上げます。

このような時に当たり、災害に強いまちづくりを始め、多くの重要課題に取り組み、活力ある地域づくりを積極的に推進すべきと考えます。

私ども議会は皆さんの代表としての責務と役割の重大さを深く自覚し、決意新たにさらなる改革に取り組む所存であります。

町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし新春のご挨拶と致します。

12月定例会

平成16年12月定例議会は12月3日から24日までの22日間で開かれました。

町長から人事案件1件、条例の一部改正2件、単行議案2件、一般会計等の補正予算案4件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

議員提出議案は1件上程され、可決しました。

その他に陳情2件について審議しました。

一般質問は、11議員が町政の問題点を追求しました。

条例改正

4月1日からゴミ袋（大）を2.25倍に値上げ!!

●指定ゴミ袋の単価

大袋（45ℓ）　20円　➡　**45円**

小袋（30ℓ）　17円　➡　**30円**

●し尿くみ取り　委託制　➡　**許可制**

「幸田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部が改正され、可燃ゴミ袋の大幅値上げと、し尿くみ取り業務の方式の変更が決まりました。

幸田町のゴミ処理費用は年々増加を続けており、平成15年度は総額3億5千万円となり、町民1人当たり1万円を超えました。

町は環境費の受益者負担と廃棄物抑制を目的としてゴミ袋を値上げしました。

Q 値上げでゴミ量抑制をどのくらいに試算しているか。

A 年間400～500tを目指している。

Q ゴミ減量化を堆肥化で行うことはできないか。

A バイオガス発生の対策を検討している。

Q 大幅に値上げは、町民相手に金儲けするのか。

A 全く考えていない。受益者負担は手数料の3割をお願いしたい。

Q くみ取り方式を許可制にしたことは責任放棄ではないか。

A 町として状況把握は十分行っていく。

（反対2　賛成19で可決）

中央公園が有料化

都市公園法の改正並びに中央公園の多目的グラウンドおよび管理棟会議室の占用利用が認められ、使用料を4月1日から徴収することとなった。

Q グラウンドの使用料はいくらか。

A 1面当り、3時間単位で2,000円である。

Q 管理棟内の会議室はいくつあり、使用料金はどのくらいか。

A 会議室は4つ。料金は300円～700円である。

Q 利用申込はどこにすればよいか。

A 都市計画課である。

（反対2　賛成19で可決）

旧オリオンを無償貸与

幸田駅前、旧オリオンの建物を、駅前開発事業が開始されるまでの約5年間をめどに、幸田町が商工会に無償貸与し、これを商工会が「（仮称）幸田まちづくり有限会社」に転貸しする。

目的は幸田駅前の空き店舗を利用して、駅前の活性化を図るものです。

（全員賛成で可決）

中央公園＆管理棟使用料

多目的グラウンド		1面当り 2,000円／3時間	半面使用の時は半額とする	
会議室	時　間	9:00～12:00	13:00～17:00	9:00～17:00
	使用料	300円	500円	700円

議員定数削減　22名→16名に

議員提出議案

議員提出議案として「幸田町議会議員の定数を定める条例の一部改正」が議会最終日に、新政クラブ清水議員から発議され、慎重審議が行われました。

審議は4議員からの質疑に続き、反対討論者2名と賛成討論者3名が「討論交互の原則」に従って、それぞれの立場で意見を述べたのち採決をしました。

採決は伊藤議員からの動議が採用され、無記名投票で行われました。

賛成15票、反対6票で可決されました。

討論

反対　6票　15票　**賛成**

賛成討論

自から行革の範を示そう

無所属　成瀬克己

1郡1町の自立の道を選択した町の将来を考えるとき、町独自で行革断行の道を模索しなければならず、今こそ議員定数削減という行革で範を示さなければならない。

定数16人は他市町の状況や、町の面積、人口規模・集中度等から検討し、妥当と考える。

また、このことにより都市型選挙への移行も期待でき、地方分権推進によって今後強く求められる議会のあり方や、議員としての資質の向上にも必ずや大きく寄与するものと信ずる。

町議会の使命の重大さと役割

公明党　水野千代子

三位一体の改革は今後の幸田町の行財政運営にも、極めて困難な局面も予想され、時代の変化に対応する簡素で効率的な組織、機構および行財政の確立が急務である。幸田町の平成15年度決算総支出に対する議会費の割合は構成率1・3%である。

全国の市町村では平成12年1・0%、13年0・9%と各市町村が経費削減に取り組んでいると理解できる。

議員自らが行政改革の範を示めさなければならないと考え、本議案に賛成をする。

議会から範を示す

新政クラブ　鈴木三津男

幸田町の財政も不交付団体とはいえ、少子・高齢化の進む社会現象には勝てず、このままでは極めて近い将来、現行の町民サービスを維持することが不可能となる。

町制50周年を機に、自立した活力ある、時代の変化に柔軟に対応できる町が必要である。

我々町議会議員は自らが立ち、町民から付託を受けた者として、責任を重く感じ、率先して町行政改善のため、「議会から範を示す」ことを強く意思表示する。

反対討論

議員定数削減は民主的に

自由クラブ　鈴木修一

定数削減問題は、町民の基本的権利である選挙権行使に重大な影響をもたらすものであり、町民の付託を受けているとはいえ、軽々しく、拙速に決すべきではない。

自由クラブは、議員定数削減については、議員全員協議会で、各議員が充分論議し、特別委員会の設置など、民主的にしかも慎重に取り扱うべき重要課題と認識している。よって抜き打ち的に提案された議員定数削減議案には、反対するものである。

住民の立場を忘れなぜ急ぐ

日本共産党　伊藤宗次

議会は、話し合いを尽くす場。意見の異なる議員をふくめ真剣な協議をすべきなのに、新政クラブに迎合し追随する者だけを集めて強行するは、議会制民主主義を否定し暴走するものだ。

住民の意見を聞く場をつくり、論議すべきだ。

議会審議能力を高めるために、発言制限を改めること。

住民の暮らしを直撃する「行革」を監視するには、現在の22名は最少限だ。

話し合いも拒否し排除し、住民の立場を忘れた新政クラブなどの数の暴力・暴走である。

12月補正予算

一般会計 2,916万円 減額

一般会計補正予算の他、3会計の補正予算議案が上程され、いずれも原案どおり、全員賛成で可決しました。

17年度に更新する予定の庁用バス

補助金削減

■子ども会への補助金削減の影響は

Q 県の補助要綱が変わり子ども会への補助金がなくなるが、子ども会への影響はあるか。

A 幸田町の要綱で補助していく。影響はない。

（全員賛成で可決）

会計別補正予算

■一般会計　2,916万円減額

※債務負担行為補正　2,600万円

責務負担行為は、17年度に予定の庁用バスの購入を今年度に先行して契約するものです。

・土地取得特別会計　0円（財源の変更）

・国民健康保険特別会計　800万円

・介護保険特別会計　0円（財源の変更）

主な追加予算

■老人生きがい対策事業　128万円
須美ゲートボール場の補修工事

■介護保険事業　57万円
在宅福祉事業補助金の過年度交付に対する精算還付

■住民広場等設置整備事業　45万円
桐山交差点改良に伴う移設工事

■道路橋梁総務一般事業　185万円
国道23号須美、芦谷インター関連の用地取りまとめ協力金

■消防団運営事業　70万円
消防団員の訓練中による公務災害補償費

陳情

2件が提出されたが、いずれも賛成少数で不採択となった。

1．教育基本法「改正」でなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府に提出することを求める陳情
（反対19　賛成2で不採択）

2．医療・介護・福祉など社会保障の施策拡充についての陳情書
（反対19　賛成2で不採択）

審議されたその他の議案

■工事の請負契約について
消防緊急通信指令施設設置工事の備品購入
（全員賛成で可決）

◆人事案件◆

■人権擁護委員
原　陽子　氏（菱池）
再任　任期3年
（現任期は平成17年1月31日満了）
（全員賛成で可決）

町づくり 町の考えは？

ここが聞きたい Q&A

食農教育の推進について

総合的な施策を計画的に推進

鈴木 修一 議員

問 食の安全安心や、食習慣といった生活の基本にかかわる、今日的な問題として教育の分野だけではなく、農業などの分野でも、食育を推進する必要性に迫られています。

(1) 食育基本法案大綱では、地方公共団体は、その区域の特性を生かした、自主的な施策を算定し実施する責務を有するとしています。本町では食育に対してどのような方針を持っているか問う。

(2) カンボジアとの交流に、農業「稲作」を取り入れる考えは。

(3) 栄養教諭制度の採用についてと「食育科」の導入について問う。

建設部長 食育基本法の目指すものは、健全な食生活の実現だけではなく、都市と農山漁村の共生や消費者と生産者との信頼関係の構築、豊かな食文化の継承と発展、環境と調和した食料生産と消費の推進などである。

教育長 学校教育の中で不足する部分については、国・県の施策に沿って、本町としての取組をする。

総務部長 カンボジアとの農業交流については、JICAの取組を支援するようなことを考えたい。

教育部長 栄養教諭制度については現在のところ、町独自に制度をもつ考えはない。

中央小学校1年生

今後の稲作農業振興について

地域水田農業ビジョンを指針に

足立 嘉之 議員

問 水田稲作の米生産調整の施策が大きく転換される。

(1) 今日まで、国の指導のもとに米生産調整が実施されてきた。今後の米生産調整は農業者自身が経営判断のもとに行うとされる。町当局の今後の取組みを問う。

(2) 農業生産法人の設立支援の考えは、幸田町には水田稲作農業生産法人は現在ないがどうされるのか。

(3) 認定農業者の状況はどのように。

(4) 稲作水田の将来像について。

稲作水田の振興、将来像を問う。

建設部長 水田利用の将来方向は、岡額地域水田農業ビジョンに指針が示されている。

具体的な取組は、水田の基盤整備・担い手の土地利用集積・共同利用機械施設の拡充等により、生産コストの低減を図りながら、需要に応じた計画的な水田営農をして、売れる米作りを行おうとするものである。

平成12年より、認定農業者・農業法人の育成・オペレーター等の担い手の育成に取り組んできている。

現在、認定農業者は91名（水稲主体は10名）となっている。

耕された後に出るミミズなどを探すアマサギ

農産物の安全・安心への取組は

問 農業も今日グローバル化し、国際的になりつつある。

日本の食糧自給率は現在40％を切っているといわれます。日本の農産物よりも海外で採れた農産物を食しているということになる。

今またここにきて安全で安心できる食べ物への関心がたかまってきている。

(1) 農産物の安全・安心への町当局の取組状況についてはどのように。

(2) 将来にわたって安全で良質な食糧を安定的に供給する幸田町の将来像は。

町民の健康保護を基本認識に

建設部長 消費者に喜んでもらえる安全・安心な農産物の供給は、大変重要な課題である。

現在、ＪＡ集荷の農産物については、生産履歴の記帳が義務づけられており、一部の農産物には、残留農薬の検査が行われている。

農業の物質循環機能を活かしながら、化学肥料・農薬等の使用にともなう環境への影響を軽減して、環境の保全と生産性の維持・向上が調和可能な環境保全型農業を農業団体・農業者等と一体となって推進する。

大須賀　好夫　議員

平成17年度予算編成の方針は

将来の発展・安心をめざし編成

問 町長は、16年度の施政方針で行政改革の徹底と行財政の簡素効率化を念頭に予算編成に取り組んだと言われた。その成果は如何程とお考えか。

基幹的収入としての町税の負担の公平、公正と収納率の向上に一層努力する必要がある。特に町税、国県の交付金、補助金についての考えは。

歳出について、自立のための行政施策は選択と効率化が最も必要である。

ＰＦＩ等の民間活力を積極的に取り組む考えを問う。

総務部長 環境・防災・少子高齢化にこたえて、行政改革を進めながら区画整理・農村整備・下水道・乳幼児医療・特養老人ホーム・少人数教育・消防庁舎建設等の事業が着実に進められている。

17年度予算の歳入については、三位一体改革の詳細が判明次第、所要の修正を行うこととしている。

歳出面では、行政評価等をもとに、真に投資効果のあがる事業をバランスよく編成したい。

町長 民営化等への取組みは、前向きに検討するが、ＰＦＩの導入は、慎重に対応したい。

広田川の総合治水対策は

問 今年日本列島に上陸した台風は10個あり、7回も災害対策本部が設置され、特に菱池内池地区では避難勧告も発令され、10世帯33人が避難、12年に発生した東海豪雨による広田川堤防決壊の二の舞になる寸前であった。その対策について問う。

広田川河川改修と遊水地計画、圃場整備を一体としてきた計画が暗礁に乗り上げた。根本から見直しが必要と考える。

行政として地域住民の生命と財産を守る責務がある。

安全対策を問う。

早急に整備計画を県と調整する

建設部長 現在の広田川は、時間雨量20㎜までしか対応できない状況にあり、本町の治水対策上も早期の改修が必要であることを承知している。

広田川の改修計画は、河道改修と本線上流部の菱池をはじめ、柳川等の支川に遊水地を配置し、洪水に対処するものであった。

現在、事業実施の見通しが立たない状況にあり、町としては、現状を踏まえた改修整備を県に要望していきたい。

幸田駅の地下道が浸水（平成16年台風22号）

通学路の安全性について

安全性を最優先にして考慮する

水野　千代子　議員

問　子どもたちの登下校時、不審者、変質者にあわないように、交通事故に巻きこまれないように、子どもたちが、「ヒヤリ」とした危険個所を把握し、学校や地域が連携をとり、改善、安全意識の啓発に努めることが大切である。

(1)「子どもの目の高さ」で通学路の総点検を。

(2)　調査後持ち寄った情報で「安全マップ」の作成を。

(3)　下校時に福祉バスの活用について問う。

教育部長　通学路は毎年度はじめに学校から提出された案件を教育委員会が審議し、認定しているが、安全性を重視したルートの設定に努めている。

(1)　危険箇所の総点検を全て行っているとは言えないが一部の学校では、子ども達あるいは地域の方が学区全体を調査したり、授業の中でも危険箇所の話合いを行っている。

(2)　安全マップについては、作成までは至っていないが、今後校長会等に諮りながら検討することとしたい。

(3)　下校時の福祉バス利用については、現行の運行の中で可能かどうかを検討していきたい。

性同一性障害について

問　心と体の「性」が一致しないために起こる社会への適応障害を伴う病気である性同一性障害（ＧＩＤ）の人達は、法律・制度の不備によって生活面、就職などで社会から差別を受けている。性同一性障害を抱える人の人権を守るために、平成15年7月、当事者の戸籍の性別変更を可能にする「性同一性障害特例法」が成立、16年7月施行されたのである。

(1)　印鑑登録証明書、選挙の投票所入場券、町発行の公文書など、可能な限り男女別の記載事項の省略について問う。

事務の全般を見直しする

福祉部長　現在、本人を確認する場合の書類については、個人の４情報である氏名・生年月日・住所および性別を明記することにより証明等を行っており、性別も個人を特定するための重要な記載事項となっている。

今後、法的に規制されない事務等については、性別記載の省略・削除の方向で全体的な事務の見直しを行うこととしたい。

総務部長　選挙事務に関する書類等については、隣接する市町村の動向を踏まえた中で統一的な取扱を進めたい。

須美から豊坂小学校まで、片道約4㎞を通学する児童

黒柳 広治 議員

子どもの権利条例制定の考えは

条例化を視野に詳細を研究する

問 国連が、子どもの権利条約を、我が国が批准発効して本年で10年。

児童虐待や、青少年事件など深刻な問題だ。子どもを取りまく環境は悪化している。

子どもの生きる権利、参加する権利、発達する権利、守られる権利など盛り込んだ子どもの権利条例の制定は緊急な課題といわざるをえない。

子どもの権利条例の制定の考えはあるか、ないか問う。

福祉部長 子どもの基本的人権の尊重や福祉の向上を図ることは、次世代を担う子ども達にとっても、また、現在を生きる我々の世代にとっても、大変重要なことと考える。

現在、この条例は一部の自治体が制定あるいは、検討中の状況となっている。

住民の声を尊重し、その環境や情勢把握という問題から取り組むこととしたい。

役場の全職場に関連する問題でもあり、相当な期間を設けて、条例化を視野に入れた詳細な研究を行っていきたい。

宝ものはだれの所有か

問 坂崎には、旧斎場が現在そのまま放置された状態になっている。

旧斎場は昭和8年ごろに築造されたと聞いている。

当時は画期的な斎場であったようだ、昭和38年ごろに蒲郡斎場へ移って以来使用されていない、上屋が崩壊し窯が野ざらしのまま放置されている。

斎場の所有は町か、坂崎区か、町所有であるならば窯を撤去して、斎場跡地を安全のため整備する考えはないか問う。

移動町長室（南部中学校）

地元と協議して早急に整備する

環境参事 ご指摘のとおり、この地に斎場が存在し、当時のままに窯が放置されていることを承知している。

斎場の土地および財産の法的な所有者は、幸田町となっている。

斎場・墓地等の整備については、窯の撤去を含めて地元関係者と協議・調整して対応することとしたい。

非核平和自治体宣言を

今直ちに宣言する意思はない

丸山 千代子 議員

問 来年は被爆60周年。核不拡散条約再検討会議がニューヨークでおこなわれる年である。

平和と核兵器廃絶の事業は、住民の平和と生命、生存権を守り、また、地球と人類の死活にかかわる重大で緊急な課題である。

「非核自治体宣言」は、全国の8割の自治体を超え一色・吉良町で宣言をおこなっている。

唯一の被爆国として、核兵器廃絶と平和を大切にする心を育てるため、幸田町でも「非核平和宣言」を。

町長 広島・長崎の被爆地を訪れ、原爆の恐ろしさをあらためて感じた。

幸田町としては、終戦の日に役場庁舎で1分間の黙祷をささげ、また平和行進等の催しにも積極的にかかわり平和の尊さを伝えていく。

町民会館、図書館等のギャラリーの掲示場所等を利用し戦争の悲惨さを町民に理解いただくよう、各般にわたって留意しながら、核のない平和な社会の実現に努力をしていく。

平和行進（平成16年6月）

介護保険制度見直しの影響は

問 政府は、2006年4月実施を目標に、介護保険制度の見直しをすすめている。

見直しの根本に保険料の引き上げが危惧されている。

幸田町において第1、第2段階の保険料、利用料の減免をおこない、低所得者層を守るための努力がされている。引き続き堅持し、くらしを守るため制度の充実をすすめていくことを強く求める。

また、見直しによる町民、おとしよりへの影響は。

新予防給付に対応できるよう予防・健康づくりの充実を。

国の見直し状況を見て

福祉部長 国で給付の効率化、重点化、予防重視型システム、各制度の機能分担を基本視点として審議されている。

情報を的確に把握し本町の第3期の事業計画の策定に向けた準備を進めていく。

介護保険制度と本町の現行介護保険料の減免制度の差が14万円ある、この減免制度は国の動きを見て、段階を町として決定していく。

予防事業は筋トレ、転倒防止等老人保険事業の見直しの状況を見て考える。

鈴木 博司 議員

地域防犯体制の確立を求めて

安全パトロール隊の支援をする

問 児童を悪質な犯罪から身を守るための防犯体制の確立を求め次の事を問う。

(1) 本年度防犯ブザーを小中学生に貸与したが、学校では、各生徒に携帯方法の指導および携帯率、不携帯理由等の調査をされたか。

(2) 一軒でも多くの「こども一一〇番」の家をふやす必要はないか。

(3) 学校や地域に「安全パトロール隊」の結成に支援を図る考えは、また腕章等の補助はできないか。

(4) 不審者情報等を希望者に携帯メールに配信サービスはできないか。

教育部長 不審者の校内侵入・校外での不審者への対応については、警察の指導等を各学校とも順次実施している。

(1) 指導の重点項目として、防犯ブザー携帯の徹底を指導しているが携帯率・不携帯理由の調査は、行っていない。

(2) 子ども一一〇番の家は、随時見直し設置することとしたい。

(3) 地域安全パトロール隊には、ステッカー・笛・腕章等の無料配付をしたい。

(4) 不審者情報等のメール配信については、岡崎警察署とも協議する。

地域防災会組織の育成を

問 大地震発生時に一番重要な組織は、有事に適切な対応ができる各区ごとの地区防災会組織である。

堅実な地区防災会の育成を求め、次のことを問う。

(1) 活動しない形式だけの組織表ではなく、各地区に適した簡素な組織表を作るべきではないか。

(2) 有事に適切な活動ができるような地区防災会の育成をする考えはないか。

(3) 各地区防災会ごとに、地震対策の講話や対話を交えた時代にあった防災訓練の実施と参加者に記念品の補助をする考えはないか。

実効ある地区防災組織を育成

消防長 災害発生直後の人命救助や初期消火には、地域の安全・安心を守る自主防災会の担うところが非常に大きい。

(1) 防災会組織表は、自主防災組織設置要綱に基づき、万一に備え任務分担・業務内容等を示したもので、訓練への取組・防災機材等の補助金交付の運用などに活用している。

(2) 今後の防災組織については、地域にあった組織づくりを行い、説明会等で助言・指導をしていきたい。

(3) 防災訓練・防災講話等は前向きに対応するが、訓練参加者への防災用品の支給等は考えていない。

救急講習（深溝学区防災講話会）

町ゆかりの人物と町おこしについて

幅広く検討する

内藤　茂雄　議員

問　戦国時代以降、松平氏徳川氏の時代において我が町には歴史上名を成した人物を多数輩出している。深溝の松平氏、板倉氏、六栗の夏目氏、大草の松平氏、高力の高力氏、坂崎の天野氏、平岩氏、大久保氏等々列挙にいとまなしである。

この中で深溝松平氏の島原市とは早くから友好関係を持ち交流している。

前述の各氏は江戸時代各地に貴重な足跡を残している。高梁（たかはし）、岩槻（いわつき）、水戸等々ゆかりの市町と友好提携関係を結び、町おこし活性化の構想を問う。

総務部長　坂崎、高力、大草、六栗、深溝など町内各地を縁とする名君が全国各地で活躍された。

町民訪問、議会の視察、元市長の特別講演など交流を深めてきた島原市は姉妹都市提携に値すると考えられる。

町ゆかりの地との交流を高めることは、歴史上のつながりを未永く次世代に引き継ぎ、町、地域の振興の効果がある。

災害時（風水害・地震等）の相互援助・産業協力など相互交流も考え、幅広く検討していく。

国道23号のICの名称について

問　国道23号岡崎バイパス工事が、仮称「芦谷」IC以西の芦谷地区で急ピッチで進んでいる。

町内を通過する23号には3カ所のICと、桐山に「道の駅」が開設予定となっている。この3カ所のICには仮称で西からそれぞれ「須美」「桐山」「芦谷」となっているが、平成19年春供用時にはそれぞれ「幸田須美」「幸田桐山」「幸田芦谷」名称を採用して地元の要望にぜひ応えていただきたい。

17年度中に正式名称決定

建設部長　インターの名称は本町で決定することができる。

仮称の大字名称では道路利用者から位置の特定がしにくいとの意見と、町名を使用することで本町の知名度を引き上げる効果の期待と、また、関係者の町名と大字名の併記の意見を踏まえ岡崎バイパスの供用1年前の17年度中に各インターの正式名称を決定する。

本光寺の深溝松平氏の廟（びょう）（墓）

夏目 一成 議員

荒田地区を荻谷学区に

住民投票は慎重に

問 岩堀区の荒田地区と芦谷区の宮ノ根地区は昭和50年ごろに区画整理の計画が示されたが、実行にいたらなかった。

以後、家が建ち荒田地区は3区にまたがって、中央学区と荻谷学区が混在している地域になっているのが現状である。

地域的にみても荻谷小学校に非常に近く、荻谷学区にすべきと思う。

町は属地主義の原則だと言っていて、いまだ解決がないが、地域で住民投票し、その結果で住民の意見を尊重した解決を、と思うが町の考えは。

教育部長 小中学校区は行政区で指定している。

荻谷小学校区に指定する考えもあるが、コミュニティー活動等、区の行政を混乱させることも考えられ、また、学年途中での変更になると児童が不安感を抱き非常に悪影響を与えることも考えられる。

関係区の総意が学区の見直しにならない限り、教育委員会としては指定を変更する考えはない。

町長 住民投票、住民の意思を問うことは、理解をいただくよう慎重に方策を探っていく。

登校する荻谷小学校児童

現状の数値は把握していない

現状はどうなっているか、企業は社会的責任があり、町として働かけをし1人でも多くの雇用が生まれ、障害を持つ親の言葉をかみしめて努力していただきたいが町の考えは。

建設部長 町内企業の障害者就業率の数値は現状では把握していない。

管内（岡崎市・幸田町・額田町）の実雇用率は1・55%であり、未達成企業は47・6%である。

幸田町としては、公共職業安定所等の機関と協調し障害者雇用の安定化並びに推進を図り、啓発活動等、積極的に取り組み、町内企業に対しても雇用の一層の理解を得るよう努力していく。

町内企業の障害者の雇用は

問 町内企業の障害者の就業率は把握しているか。

障害者の就業は業種によってもことなるが、従業員56人に1人雇用することになっている。

障害を持つ親の言葉に〝私達が生きてる内は面倒見れるが、死んだ後はどうやって生きていくのかなー〟と言われましたが、家族の気持ちは深刻である。

大企業に適正課税で2億円確保

超過課税の考えはない

伊藤 宗次 議員

問 日本共産党幸田町委員会は、05年度予算要求で200項目を要求したがどう対応されるか。

町長の予算編成方針は、受益と負担の適正化の名で、取りやすい町民から取る。ピンハネもする。ごみ袋の2・25倍値上げに示される。

相見区画整理など大型事業優先、町民の暮らし後まわしである。

資本金10億円以上の37社に適正課税実施すれば2億円の財源が生まれる。財政基盤の確立で実施を。

天の丸、民間温泉に「入湯税」徴収できる条例の制定を。

町長 予算要求について広範にわたって指摘、提案された問題点は、これからの町政に大いに参考にしていく。

予算は社会基盤の整備を中心に防災、福祉、環境等の今日的な課題を重点的に取り組んでいく。

先人達が企業誘致を始め基盤整備に努力した結果、今日がある。大企業の誘致を考える時に、超過課税、不均一課税をする考えはない。

入湯税条例制定は05年6月または9月として検討、対応していく。

借地料6千万円、計画的に解消を

問 75カ所、18万6千㎡余、6千万円を超す借地料。借地行政を改めるため性質別、性格別に分類し、買収、返還などの方針を立て計画的に解消すべきだ。

「買い取り申し出があれば買う」という消極的な姿勢では解消できない。

現消防庁舎用地を含め、民間の家屋などの移転補償で一帯の用地を確保することで、幸田中学校体育館と中央公民館の全面改修計画の一体的な展望が開ける。

役場北の町道岩堀線の交差改良も安全な交差点になる。計画的な用地確保を提起する。

予算の許す範囲で買収を進める

町長 平成15年度に一部町民会館等の用地も買収をした。借地料について心配、懸念はしているが極力減少努力はしていく。

年次計画をつくることは、相手があることで難しいが予算の範囲で買い取りをしていく。

現消防庁舎の借地は必要上1~2年は借りたい。いずれは適正な単価で買収がしたい。

できれば岡崎幸田線の拡幅、交差点の改良に大きな弾みにもなる。状況をよく判断した上で買収に対応していく。

借地している現消防庁舎敷地

清水 正幸 議員

Aコープ信号以北の県道拡幅は

平成17年度引き続き実施見込み

問 (1) 消防署前からAコープ信号までの県道拡幅事業が、まもなく完了見通しとなった。
以北の2期事業継続見込みについて伺う。
(2) JR錦田ガード下の冠水対応について、排水能力と排水時間の関係。例えばガード下1m冠水時と2m冠水時の水量および排水時間は。排水能力を増すための改善対応は。
(3) 主要道の整備が急速に進み、町の公共施設への道路案内標識設置が、望まれるが対応はいかに。

建設部長 (1) Aコープ西信号交差点から熊野神社まで260mの工事は、新規事業実施に向け測量と計画書の作成を進めている。
(2) 口径150㎜の排水ポンプ2基が設置され、1基1分間2tの排水能力がある。3m冠水すると1、200tになり5時間を要する。県に能力アップの改善を申請。
(3) 平成19年国道23号インター開通、平成17年消防庁舎のオープンも控えており、主要交差点を候補地として標識設置に取り組む。

拡幅工事が進む県道岡崎幸田線（岡崎方向を望む）

全町下水道計画の進捗と全容は

問 町の歴史上にも残る大事業として進められている全町下水道計画も順調に進み、峠を越えた感じとなった。
このほど公共下水道事業認可区域の拡大が示され、先が見えてきた。
(1) 今後の築造工事予定は。
(2) 現在の普及率（接続可能人口）幸田町と県平均は。
(3) 現在までの接続率は。
(4) 集排を含む総事業費は。
(5) 借金残高は。
(6) 受益者負担金総額は。
(7) 下水道料金と県水準は。
(8) 借金残高の推移は。

最終年度を平成27年度に予定

上下水道部長 (1) 計画年次は持っていないが区画整理事業との整合を図る。駅西工業団地と野場新市街地85・7haの事業認可もおり、事業効率等を考慮しながら平成27年度を最終年度として整備を進める。
(2) 公共下水55・3%、県平均45・2%、接続可能人口2万9、249人。
(3) 接続率 93・2%。
(4) 総事業費
287億4、956万円。
(5) 起債残高
92億6、439万円。
(6) 受益者負担金総額
21億2、956万円。
(7) 1㎡75円で県下8番目に安い。
(8) 償還は平成57年度まで続き、年3億3千万円から3億7千万円で推移する予定である。

委員会レポート

Activities Report

総　務

交通災害共済組合の解散

11月18日協議会が開催され、西三河二市五町交通災害共済組合の現状などについて説明を受けた。

Q 18年度には組合解散の手続きとなるが、本町が受ける配分金はどう処理していくのか。

A 配分金は今後交通安全の事業に使うなど、各市町村の考えで決まる。

議会と協議をし方向を出していく。

Q 加入者に対して共済の趣旨から、交通災害遺児を対象として入学・結婚などの節目に見舞金などに生かしてはどうか。

A 遺児にはこの共済に加入していない方もいる。今後どんな使い方をしたら良いか考え、交通災害にかかわる手立てを検討協議していく。

産業建設

幸田駅西駐車場の舗装を一新　駅南にも

・11月15日協議会開催

Q 幸田駅西第1駐車場改修の内容は

A 舗装を一新して、駐車幅を従来の2・25mから2・5mに改め、車の出し入れの安全を図る。

Q 駐車台数減少には、どう対応するのか。

A 駅南の町有地を駅前区画整理事業実施までの間整備し、活用を考えているため、従来より26台増の合計で417台となる。

Q 下水道事業認可地域の拡大の内容は。

A 市街化周辺集落95haを新たに加え、中部第2負担区とし、負担金1㎡当たり400円と定め整備するものである。

Q 全町下水道事業の完了予定は。

A 国の政策も関係するため明言できないが、平成27年度完成目標である。

Q 相見地区の水道事業負担金については、区画整理組合の負担になるのか。

A 水道事業法によって、申込者の負担となる。町からは事業促進の意味も含めて、補助金を出している。

駐車場として一時利用を予定している幸田駅南の町有地

文教福祉

中央公民館と幸中体育館を改築

授業でバドミントンの試合（幸田中学校体育館）

・11月12日開催

保健環境課より主要事業について説明を受ける。

Q 現状のゴミの増加で、ゴミ袋の値段の引き上げはやむを得ないが、単価は十分検討したか。

A 焼却施設を持たない自治体は、ゴミ袋は平均的に高めである。基本的な考えは、可燃ゴミ処理費用の3分の1程度の負担をお願いしたい。

Q 町のゴミ減量の取組が足りないのではないか。

A 分別収集の徹底と生ゴミのバイオマス処理を検討していく。

Q 大、小2種類の袋であるが、もっと小さい袋は考えないのか。

A ゴミ袋のサイズは、当面現状でいく。

■教育委員会所管の主要事業について説明を受ける。

Q 幸中体育館、中央公民館は18年度全面改築ということか、複合施設として改築か。

A 学校および町民に安全で利用しやすい施設とし、現行と同じ重層建築としたい。

Q 音の問題は心配ないか。

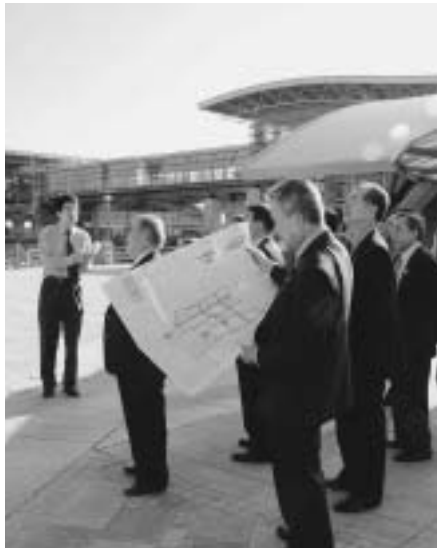
A 今の建築技術からすれば、音の問題はクリアーできると思う。

Q 深溝小の放課後対策について、学童保育室が狭いと思うが、増築の時に考慮しているか。

A 倉庫の増築を含めて考えていきたい。

総合開発

静岡市都市拠点整備事業を視察



東静岡駅北口にて

11月2日、静岡市東静岡地区新都市拠点整備事業の新駅設置と駅周辺土地区画整理事業の視察を行ないました。

■概要

・事業の名称　静清広域都市計画事業・東静岡駅周辺土地区画整理事業
・事業主体　静岡市
・施工面積　約50・5ha
・総事業費　４９０億円
・施工期間　平成5年度～平成24年度

本地区は、ＪＲ東海道本線の東静岡駅周辺に位置し、新都市拠点整備事業により東静岡駅、南北自由通路を建設され、駅周辺の都市基盤は土地区画整理事業による整備が進められていました。土地利用計画は、核施設、商業、居住などのゾーン指定をした用途地域、地区整備計画を決定。

居住者によるまちづくり協議会の組織化をした都市機能の高いまちづくりを進めていた。

これは、「都市基盤の整備と土地利用を併せて進めてこそ、良好なまちづくりが形成される」担当者の確信の基に、まちづくりを真剣に推進していたことが伺えた。

総合計画

鈴鹿市の総合計画策定を視察

11月1日、三重県鈴鹿市の総合計画策定について、桑名市のPFI方式による桑名メディアライブを視察研修しました。

鈴鹿市は平成15年4月、新市長の誕生により、民間の考えを取り入れるという公約で、第4次鈴鹿市総合計画（平成12年度～平成22年度）の後期基本計画を止め、全く新しい基本計画の策定に取り組む。

(1) スケジュール

平成16年度公募による、市民グループの設置、プロジェクトチームの結成、審議会の設置等。

平成17年度、基本構想および基本計画の策定業務。目標人口は、現状維持。

(2) 策定の進め方

鈴鹿市戦略会議を設置し既成概念にとらわれない、斬新な発想や民間的な感覚を取り入れる。

(3) 桑名メディアライブ

平成13年に桑名市図書館等複合公共施設整備事業をPFI方式により実施することを決定。22％の財政削減ができると試算している。事業期間は30年、その後所有権を移転。

三重県鈴鹿市役所

議会運営

議会と定数

1郡1町で自立を目指す本町の将来を考え議会運営のあり方等について、神奈川県葉山町と千葉県富里市の各議会を11月4～5日に視察研修しました。

■神奈川県葉山町

神奈川県の南東部三浦半島の付根に位置し逗子市と横須賀市に接し、町の面積は17㎢、人口は3万2千人、本町とよく似た町でした。

議会は人口急増と近年の行政改革の流れの中で現行の議員定数18人と削減しても十分行政を民意に反映できるとのことでした。

合併については将来を見据えて1郡1町として町政の発展に努力していく。

■千葉県富里市

昭和60年に町制が施行され、平成14年に市制施行された新しい市です。市の面積は53㎢、人口5万2千人、議員定数は市制が施行されても町制同様、行政改革の一環として据え置き20人とした。

合併については今後新設合併を必要とする時期が来れば取り組んでいきたい。

両市町ともに特徴がありよい視察研修ができました。

千葉県富里市議会にて

議会広報

委員会質疑を重視し わかりやすく

10月17～18日、兵庫県播磨町と広島県神辺町の議会広報編集を視察しました。

■播磨町

編集委員6名のうち3名が女性。

98年度から03年度まで毎年、県、全国コンクールで受賞した自信が紙面づくりに表れていた。

予算、決算は2ページを使い、数字は少なく、質問、答弁をイラスト的にかこみ読みやすさを追求している。

毎号、テーマを決め、「いきいき いんたびゅ～」を企画し各界、各層の町民が4～5名登場する紙面づくりをしていた。

■神辺町

編集委員6名で任期4年が、腰をすえて紙面づくりする意欲につながっているのか、03年度全国コンクールで優秀賞を受賞している。

委員会質疑を重視し一問一答でわかりやすさの工夫と、委員会への割当ページとせず、内容でページの増減をする柔軟な編集をしていた。

一般質問は、1人2分の1ページ1件のみの扱い。

「キャッチボールコーナー」を設け、町民の声に行政が答える紙面で住民の関心と親しみを呼ぶ工夫をしていた。

兵庫県播磨町議会にて

議員研修

奥野教授

西三河町村議会　議員研修会

議会では、研修を通じて議員としての識見をさらに高め、資質の向上と相互の交流を深めるため、いくつかの広域的な連絡協議会を組織しています。

16年秋には、2回の研修会が実施されました。

■10月22日　西三河町村議会議員研修会「町民会館つばきホール」

中京大学大学院教授　奥野信宏氏「三位一体改革後の地方分権の行方」の講演を聞きました。

■10月25日　西三河四郡町村議会議員研修会「下山村勤労者憩の家」

読売テレビ解説委員　辛坊治郎氏「情報が主役の時代」の講演を聞きました。

また、愛知県副知事　森徳夫氏からは、愛知万博・中部国際空港などの当面する問題について、講話がありました。

これらの研修は、いずれも議員活動に有益なものとなりました。

わが町を思う

I LOVE TOWN

［新田区］
都築悟美さん

［野場区］
天野つや子さん

ステキ、快適

遠望峰山から昇る朝日は町内でもまっ先に新田へ暖かい光を投げかけてきます。

ステキな感動、最適な自然環境、快適な住環境、そんな要素が整った理想の源は明るい地域づくりのスタートだと考えられます。

ところで自然が嫌いな人はまずいないでしょう。それは自然の中に包まれると何ともいえない心地良さを感じ、草・木・花・空気そんなあたりまえなものが、忙しい日々を送っている私たち現代人にとって一番不可欠なものだと考えます。

社会、経済情勢が急速に変化し、それに対応していく努力が必要な昨今、夢と活力のある地域づくり、そんな事を心の片すみに意識して日々過ごせていけたら、そしてこのステキな区内の環境がこの先ずっと存続していける様に願いたいものです。

挨拶の大切さ

爽やかな子に会いました。我家の前で「こんにちは。」と言う可愛い声に振り向くと、知らない子が挨拶をしてくれたのです。私も「こんにちは、挨拶できて偉いね。」と言い、（どこの家の子かしら感心な子）と思っていました。

数日後ごみを出しに行った時、「おはようございます。」と自転車に乗った見知らぬ中学生の声。思わず「おはようございます。」と大きな声で返事。そして後姿を見送りながら、心の中で「事故にあわないでね。」とエールを送りました。

同じ地域に住んでいる人同士、挨拶を日常的に行う事でコミュニケーションも深まり、また、殺伐とした世の中で、犯罪抑止の一助になるのではないかと思います。

編集後記

公募による04年の「今年の漢字」は、「災」と決まりました。

募集した日本漢字能力検定協会によると、23％の人が「災」を選び、2位「韓」の7％に大きく差をつけました。

「災」は「わざわい」。「わざ」は神のしわざの意味、といいます。

昔、悪い結果をもたらす神のしわざを「わざわい」といったようです。

04年は、自然災害とはいえ、上陸した台風は10。その上に新潟の地震、社会そのものが凶悪犯罪の多かった年で、政界もいまだにイラク戦争の後始末さえできずです。

今年こそ「災転じて福となす」ことを願い、不吉な「災」には希望を込められた「災いは幸い」ともいいます。

災は幸いへの糸口になるという意味で、05年を「幸い」の年にする思いで、初日を仰ぎみる。

あなたも議会を傍聴してみませんか

3月定例議会の本会議は、下記のとおり行う予定です。

●会期の日程

2月28日（月）
　開会、議案の説明
3月3日（木）
　一般質問
4日（金）
　一般質問
7日（月）
　議案の質疑
9日（水）
　議案の質疑
28日（月）
　討論・採決、閉会

●場所　役場5階　議場
●時間　午前9時から
◎詳しくは議会事務局へ
　0564-63-5151

VOL. 115
2005. 2月1日
発行日／平成17年2月1日

発行／愛知県額田郡幸田町議会　編集／議会広報特別委員会
住所 〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL(0564)63-5151 FAX(0564)63-6970

R100 古紙100%の再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK